



みちした



令和8年2月10日

魚津市立道下小学校

↑学校ウェブサイトはこちらからどうぞ

降る雪に想う

校長 長崎 亨

本校では、「冬の自然に親しみ、たくましく活動する心と体を育てる」ことをねらって、4・5・6年生対象にスキー学習会を行っています。日頃からスキーに親しんでいる子供にとっては楽しい行事ですが、初めてスキーをする子供やスキーが苦手な子供にとっては、不安な行事でもあるようです。

5年生のAさんは、昨年度のスキー学習会でリフトからうまく降りることができず何度も転んでしまい、「今年のスキー学習会に行きたくないな」と思っていたそうです。しかし、当日は指導インストラクターと一緒にリフトに乗車し、降りるコツをつかんで上達しました。「途中から一人でも転ばずにできるようになってうれしかった。また、スキーに行ってみよう」と感想を述べていました。スキーを通して、できなかったことができるようになった達成感や雪の上を滑る楽しさを味わった喜びが感じられます。

雪には、さまざまな認識があります。雪による災害等を克服しようとする「克雪」、生活や産業で利用しようとする「利雪」、野外活動等を通して雪に親しもうとする「親雪」。毎年降る雪をやっかいなものとして捉えるだけでなく、私たち大人も、この「親雪」の気持ちを持ち続けていたいと思っています。雪遊びやスキー、スノーボード、雪原の散策等、雪に親しむ手段は多様です。本校のスキー学習会が、「親雪」のきっかけとなることを願っています。

[4・5年生スキー学習会]

2/3(火)に、4・5年生のスキー学習会を実施しました。朝方まで降っていた雪もやみ、青空が見える快晴の下、スキー練習に取り組むことができました。子供たちは、広いゲレンデを思い切り滑ることができ、スキー技能も大変上達しました。



※6年生のスキー学習会は、2/26(木)に実施いたします。

[1・2年生雪遊び]

スキー学習会のない学年もそれぞれに雪に親しむ活動をしています。1/23(金)には、1・2年生が学校のグラウンドで雪遊びを行いました。降りたての雪の中、雪だるまづくりや雪投げ、雪原を走り回るなど、一人一人が思い思いに雪遊びを楽しみました。



シリーズ ～子供たちの学びを考える③～

4年生総合的な学習「広げよう！心の輪」

「広げよう！心の輪」のテーマのもと、一人一人が課題をもって福祉について学んでいます。2/4（水）には、魚津市社会福祉協議会の協力により市内在住の視覚障がいがある方をお招きした体験学習を行いました。インターネット上のウェブサイトや書籍などから得る知識だけではなく、直接「人から学ぶ」体験を通して、子供たちは多くのことを感じ、学ぶことができました。



体験学習の様子

- ★講話では、実際の生活について教えていただいたり、児童からの質問に答えていただいたりしました。
- ★音の出るボールを使った卓球体験も行いました。児童と対戦する形式でしたが、音を聴いて打ち返す上手なラケットさばきに子供たちは驚いていました。
- ★学習の終わりには、お礼の言葉とともに「にじ」の合唱を聴いていただきました。

地域とともにある学校 ～地域の人材が学びを支える～

本校では、「地域とともにある学校」を目指して、多くの教育活動において地域の方々の協力をいただいております。学習活動を2つご紹介します。

【読み聞かせ】

水曜日の朝の時間、1～3年生を対象に、ボランティアの方々による本の読み聞かせをしていただいています。子供たちが興味をもつような楽しい本を選んでくださっているおかげで、子供たちにとって楽しみな時間となっています。3学期になると、どの子も集中してお話に夢中になる姿が見られます。心豊かな子供たちの育成につながるすてきな時間となっています。



【家庭科：ミシンの学習】

家庭科のミシンの学習では、調整等に時間がかかってしまい、予定時間に終わらない子が出るなど、教員の指導や子供同士の教え合いだけでは限界があります。そこで、地域の方に「学習サポーター」として、指導の補助をお願いしています。12月には6年生、1月には5年生の学習を行いました。子供たちは学習サポーターさんの支援を受けながら、一生懸命にエプロン作りや小物作りに取り組んでいました。

